

## 住み慣れた地域での生活を考えるワークショップの開催報告（中居林地区）

- 1 日 時 令和7年11月9日（日）10時から12時  
 2 場 所 八戸市総合保健センター2階 介護予防センター内ホール  
 3 対象地区 中居林地区  
 4 参加者 23人（地域関係者15人（民生委員、住民団体、薬局、福祉施設職員など）、  
 八戸学院大学 学生6名、高齢者支援センター2名）

### 5 開催概要

#### （1）話題提供

「八戸市の高齢者を取り巻く状況」

八戸市 福祉部 高齢福祉課 主事兼社会福祉士 岩間 歩乃佳

「地域包括ケアシステムの解説」

八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科 講師 大木 えりか 氏

#### （2）ワークショップ（グループワーク）

テーマ 「中居林地区での生活について考える」

八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科 講師 立石 真司 氏

- ・3つ選んで自己紹介（アイスブレイク）
- ・中居林地区の将来像（どんな地域が理想か）について意見交換
- ・全体共有 各グループから検討した内容について発表

#### 【主な意見】

項目	内容
生活インフラ （道路・交通、商業施設、娯楽施設等） 居住環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩きやすい地域だと良い。歩道が狭い、凸凹。段差の解消、白線をはっきりと、坂を少なく、歩道に柵を設置。</li> <li>・道路の整備。坂が多く、道が狭い。</li> <li>・信号のない横断歩道がある。</li> <li>・歩道橋があると安心。</li> <li>・歩けない時の移動手段の確保。</li> <li>・免許返納しても移動できる町に。</li> <li>・バス停が遠い。</li> <li>・八重坂に向かうバスの最終時間が早い。</li> <li>・通院や薬局に行くのが大変。バスの本数を増やす、コミュニティバスを走らせる。</li> <li>・乗り合いバスや乗り合いタクシー。</li> <li>・通院用の乗り合いバスを市で用意できないか。</li> <li>・シニアカーの推進。シニアカーが通りやすい道の整備。</li> <li>・自転車のレンタル。安全な自転車道の整備。</li> <li>・有償運送の業者を増やす。</li> <li>・買い物バスを増やす。生協、よこまち、とくしまる。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬局が近くにあると良い。</li> <li>・街灯を増やして欲しい。</li> <li>・駐車場がせまい、少ない。</li> <li>・買い物に困らない地域 ⇒スーパーやコンビニの整備。移動スーパーの充実。一日中開いている店。商品の充実。</li> <li>・一般向けの家族風呂。高齢者向けの入浴施設。</li> <li>・働き盛り世代のために、おいしい定食屋。</li> <li>・映画館やゲームセンターなどの娯楽施設。</li> <li>・大型遊具のある大きな公園。</li> <li>・飲酒OKなデイサービス。</li> <li>・団地の改造。 ⇒階段をどうにかして欲しい。 ⇒学生がリノベーションに参加。 ⇒学生が経営する施設。 ⇒学生寮として活用、</li> </ul>
住民の交流 集いの場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のつながりの希薄化。町内活動の減少。</li> <li>・町内会の参加促進</li> <li>・人と人とのつながりが強い地域。</li> <li>・世代間交流の機会を増やす。</li> <li>・中学生との交流の機会。</li> <li>・学生と高齢者サロンの交流バス開通する。</li> <li>・イベントや祭りを増やし、参加する若者を増やす。</li> <li>・子どもの居場所づくり。</li> <li>・共通の趣味をつないでくれる所。</li> <li>・気軽に人と集まり、会話ができる場所。空き家の活用。</li> <li>・認知症カフェを作って交流の場に。</li> <li>・元気な高齢者が活動できる場。</li> <li>・ワークショップを増やす。</li> <li>・見守り合える地域。</li> <li>・若い力が必要。ワークショップへの学生の参加は心強い。</li> </ul>
住民生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院の付き添い、ゴミ出しを支援してくれる人。</li> <li>・話を聞いてくれるボランティア。</li> <li>・雪かき、屋根の雪下ろしのボランティア。除雪車が通った後の雪かきサポート。</li> <li>・高齢者宅の草取りや雪かきを学生に援助してもらいたい。</li> <li>・障がい者が子どもたちの送迎に参加。</li> <li>・住民活動に対して、行政以外からも補助金が出ればよい。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"><li>・外出が難しい方に自分達から出向く支援。配達サービス業者等側からの情報提供。</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・空き家が多い。</li><li>・何でも相談できる場所。相談したいと思ったらここへ！というところはどこなのか。</li></ul>